

磐田市 桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第187号 2019年12月15日 だより



開館時間：午前9時～午後5時（月曜日 休館）

住所：〒438-0016 磐田市岩井315番地

電話：0538-39-3022 FAX：0538-39-3023

E-mail: okegaya-vc@city.iwata.lg.jp



オオハクチョウもやってきた！



オオハクチョウ



コハクチョウ

11月23日、例年のようにカモ類でにぎわい始めた桶ヶ谷沼に2羽のオオハクチョウがやってきました。1週間ほど、カモたちにまざってゆったり過ごす姿が見られました。この冬、コハクチョウは桶ヶ谷沼や鶴ヶ池ではまだ確認されていませんが、磐田駅の南の大池には10月末から1~2羽滞在しているようです。野鳥が安心して過ごせるよう静かに見守りたいものです。

←オオハクチョウは、くちばしの黄色い部分がコハクチョウより大きく、先の黒い部分に鋭角に食いこんでいるのが見分けポイントです。

ビジターセンターの隣の畑では10月の終わりにソバの実を刈り取った後、菜の花の種がまかれました。小さいですが、もう青々とした芽が出始めています。来年の春、畑一面が菜の花の黄色で彩られるのが楽しみです。



12月に入っても、暖かい日には日当たりの良い場所の石や枯れ葉の上にアキアカネが止まって「ひなたぼっこ」をしている姿が見られます。

緑のうちが目立たなかったセンリョウ、マンリョウ、フユイチゴなどの実が日に日に色づいて、林の中に鮮やかな赤い実が目立つようになってきました。



* 万葉集に詠まれた植物 その9 *



あしべゆ かも はがい しもふ
葦辺行く 鴨の羽交に霜降りて
さむ ゆうべ やまと おも しきのみこ
寒き夕は 大和し思ほゆ 志貴皇子 (巻一-64)

歌意：岸^{あし}辺^べの葦^はの生^はえているあたりを泳^{およ}いで行く鴨^{かも}の羽^はに霜^{しも}が降^ふって寒^{さむ}い夕^{ゆう}べは、ふるさとの大^{やまと}和^とのことがしきりに思^{おも}い出^でされる。

もんむてんのう なにわ ぎょうこう
文武天皇が難波^{なにわ}に行幸^{ぎょうこう}した時^{とき}、お供^{とも}した志貴皇子^{しきのみこ}が詠^よんだ歌^{うた}で、寒^{さむ}々^{ざむ}とした水^{みづ}に浮^うかぶ鴨^{かも}を見てい^みると寒^{さむ}さが身^みにしみ温^{あたた}かい故郷^{こきょう}の家^{いへ}がしのばれるとい^いうふるさとを思^{おも}う歌^{うた}です。

「アシ(葦)」はイネ科の植物で、日本各地の池沼や川岸に普通に生える大型の多年草です。高さは2～3mになり、地下茎^{ちかけい}は泥^{どろ}の中を長く横^{よこ}にはい大集落^{おほしゅうらく}をつくりま^すす。アシは「悪^あし」に通^とずるので、別名^よで「ヨシ(良^よし)」と言^いわれるようにな^りました。

【参考：万葉植物事典(北隆館)・日本の野草(山と溪谷社)】

桶ヶ谷沼にもヨシが生えていて、マガモなどの水鳥たちが身を寄せて休んでいる姿が見られます。

* 11月のイベント報告 *

キノコを楽しむ会 11月10日(日) 9:30～

講師からキノコのしくみについて説明を聞いた後、野外観察に出かけました。子どもたちは枯れ木や草むらの中に目ざとくキノコを発見して楽しみました。またキノコの人工栽培についても学び、体験しました。(講師：大庭 俊司さん)



自然とのふれ合いを

野鳥観察会

1月19日(日) 9:30～11:30 (受付 9:00～)

桶ヶ谷沼に生息する野鳥の説明を受けたあと、野外でマガモなどの水鳥や野鳥の観察をします。

冬の昆虫観察会

2月2日(日) 9:30～11:30 (受付 9:00～)

桶ヶ谷沼周辺の林で越冬している昆虫の観察をします。

※どちらの行事も桶ヶ谷沼ビジターセンター集合です。
野外活動のできる服装で参加してください。

※どなたでも参加でき、参加費は無料です。申し込みは直接または電話、FAXでビジターセンターへどうぞ

